

安全管理状態の見える化

【概要】

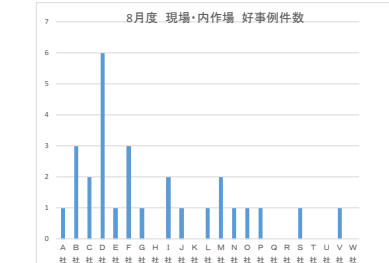
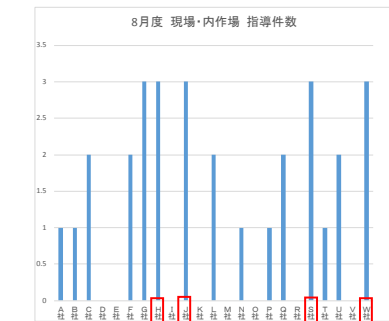
災害防止を狙い、各社の安全管理状態の見える化を行い、管理状態の変化を掴み災害が発生する前に対策を打つ活動を展開している。

- ①安全管理状態の評価は、パトロールでの指導件数、良好事例件数で実施。
- ②毎月各社毎グラフにし安全管理状態が変化していないか、悪くなっていないかを見える化し、悪くなっている所は、対策を打ち、災害防止を図っている。

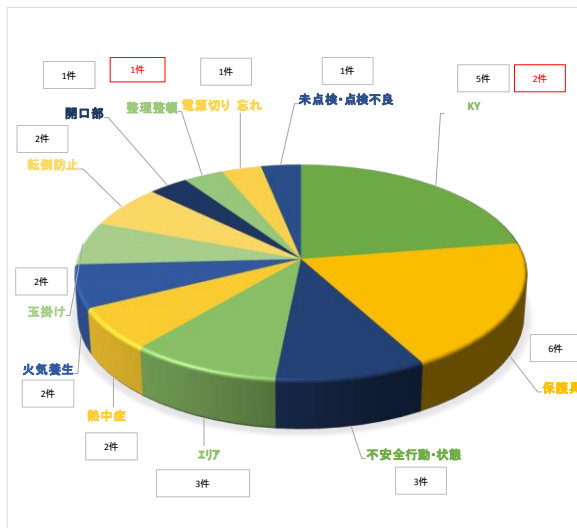
2017年 8月度 元請パトロール月報

1、顧客満足度

□ は、パトロール1回あたり2件を越える指導会社



2、指導件数の項目分析

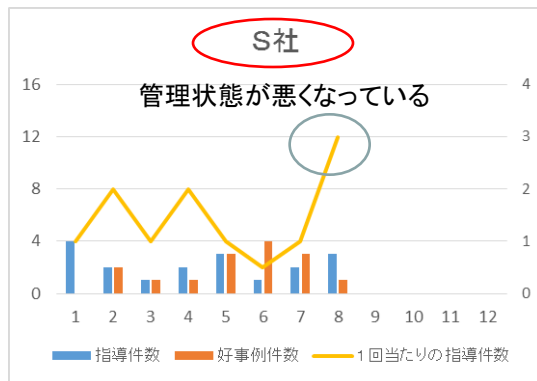
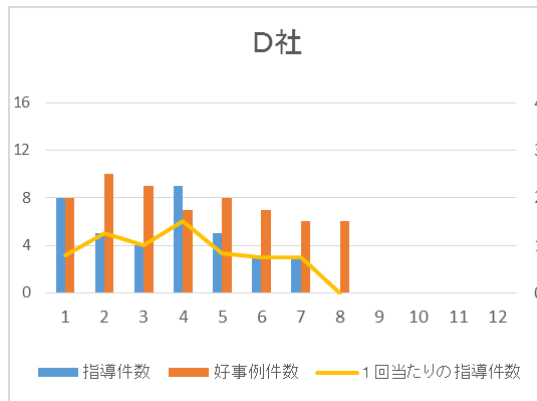


3、今月の要点【変えなければならない習慣】

1)KYに過去災害事例を反映しているか	
① G 社	2件
② S 社	1件
② U 社	1件
2)保護具の未使用(安全带・保護メガネ・マスク該当等)	
① J 社	2件
② H 社	1件
② S 社	1件
3)不安全行動・状態(開口部・トラック手摺一部省略・電線工具のエンゲイメント等)	
① U 社	1件
① W 社	1件
① L 社	1件

【まとめ】

今月も引き続き保護具の未着脱が目立ちます。自分を守るため保護具を確りと身に付けて安全作業に徹して下さい。不安全行動・不安全状態が無い様をお願いします。



毎月各社の指導件数、良好事例件数、指導分析等を見える化し会議等で周知

各社の月毎の良好事例件数、パトロール1回当たりの指導件数をトレンドにし安全管理状態の変化を見える化し評価